

# 総務局

一般会計要求総額 2,325百万円  
(対前年度 +27.2%)

## 令和5年度 予算要求の方針

総務局は、多様化する行政ニーズに適切に対応し、市民に信頼される市役所づくりを推進するため、行財政改革や女性の活躍推進、人材育成等、全庁的な総合調整機能を果たしていくとともに、下記の4本の柱に沿って積極的な取り組みを進めていく。

【令和5年度 予算要求の基本的な考え方】

○：新規事業、○：拡充事業

### 官民連携による行財政改革の推進

要求額 74百万円 (対前年度+201%)

まちの成長につながる「未来への投資」を進めるため、民間人材を加えた「官民合同チーム」による行財政運営の総点検を行う。

- ■ 官民連携による行財政改革推進事業  
(官民合同チーム)



### 女性の活躍推進

要求額 548百万円 (対前年度+16%)

両立に不安を抱える未就業女性を伴走で支援し、企業との交流会を開催するなど、女性の就業や企業等における女性活躍等の推進・働き方改革をサポートすることにより、本市への女性の定着と社会経済の活性化へとつなげていく。

- 女性輝き！推進事業
- ウーマンワークカフェ北九州運営事業



### 職員の人材育成

要求額 40百万円 (対前年度+17%)

多様化する行政ニーズに適切に対応し、市民に信頼される市役所づくりを推進するため、少数精鋭の体制の構築に向けた職員の人材育成に取り組む。

- 職員研修業務委託事業
- ■ 職員自学力向上事業

### 公共施設の適正な維持管理等

要求額 611百万円 (対前年度+37%)

市役所本庁舎において、定期的・計画的な改修・整備の実施により適正な施設の維持管理を行うとともに、想定最大規模降雨（1,000年に一度の大雨）に対する減災対策を実施する。

- 本庁舎等施設長寿命化事業
- ■ 本庁舎浸水対策事業



※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和5年度に実施することが確定しているものではありません。

# 令和5年度 総務局予算要求方針

## 1 令和5年度総務局予算要求総括及び方針

### (1) 令和5年度総務局予算要求総括

#### 【一般会計】

職員数 163人 (令和4年10月1日現在)  
(うち正規+再任用フル 157人)  
(うち再任用短時間 6人)

令和5年度要求総額	2,325,417千円
(令和4年度予算額	1,828,196千円)
前年度比	+27.2%

### (2) 令和5年度総務局予算要求の方針

総務局は、多様化する行政ニーズに適切に対応し、市民に信頼される市役所づくりを推進するため、行財政改革や女性の活躍推進、人材育成等、全庁的な総合調整機能を果たしていくとともに、下記の4本の柱に沿って積極的な取り組みを進めていく。

- ①官民連携による行財政改革の推進
- ②女性の活躍推進
- ③職員の人材育成
- ④公共施設の適正な維持管理等

## 2 重点的に取り組みを行いたい主なもの（主に新規・拡充事業）

### （1）官民連携による行財政改革の推進

新規

- ・官民連携による行財政改革推進事業 40,000 千円

まちの成長につながる「未来への投資」を進めるため、民間人材を加えた「官民合同チーム」による行財政運営の総点検を行うもの。

### （2）女性の活躍推進

- ・女性輝き！推進事業 10,248 千円

両立に不安を抱える未就業女性を伴走で支援し、企業との交流会を開催する。また、市内企業で管理職として働く女性に対し、更なるスキルアップやネットワーク形成を行うなど、女性が自分らしく活躍できるための事業を実施するもの。

- ・ウーマンワークカフェ北九州運営事業 36,278 千円

国・県・市の3者が緊密に連携し、就職、キャリアアップ、創業、子育てとの両立など、女性の職業生活における活躍をワンストップで総合的に支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営するもの。

### (3) 職員の人材育成

- ・ 職員研修業務委託事業 32,093 千円

社会環境の変化や多様化する行政ニーズに対応するため、計画的・体系的な研修により、職員として求められる能力を伸ばし、チャレンジ精神の向上を図るもの。

新規

- ・ 職員自学力向上事業 5,923 千円

「職員のリスキング推進」及び「管理職のマネジメント能力強化」に向け、オンライン動画学習サービスを活用して、職員の学びの意欲を高め、職員が自学に積極的に取り組む、組織風土の醸成を図るもの。

### (4) 公共施設の適正な維持管理等

- ・ 本庁舎等施設長寿命化事業 280,280 千円

令和3年3月に策定した「中長期修繕計画」に基づき、本庁舎等の長寿命化改修を計画的に実施し、予防保全型の維持管理に努めることで、建物を安全に維持し、ライフサイクルコストの縮減と支出の平準化を行うもの。

令和5年度は、昨年度に引き続き、空調設備の不具合に伴う設備更新工事等を実施する。

新規

- ・ 本庁舎浸水対策事業 114,514 千円

想定最大規模降雨（1,000年に1度の確率で発生する大雨）により、本庁舎は床面から1mの高さまで浸水すると想定されることから、被災後から仮復旧までの期間を短縮（6ヶ月→2ヶ月）するための減災対策を実施するもの。